

施策番号 3-2-2	施策名 快適な住環境の整備	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			
		政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進			
	主管課	建設都市整備課	課長名	橋本 直樹	内線	440
	施策関係課	住民生活課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
快適で安全安心な公園などの住環境の整備と適正な公共賃貸住宅の供給をすすめます。		町内の住環境	快適で安全安心な住環境を町民に提供する				町人口の増加と、居住者の快適な暮らし
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 芽室町の公園に満足している町民の割合	住民意識調査	%	74.0	70.8	70.5	75.0	
② 居住環境に満足している町民の割合	住民意識調査	%	78.4	79.2	78.0	80.0	
③							
成果指標設定の考え方	①公園に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定 ②居住環境に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	295,651	264,035
人工数(業務量)	5.8176	5.3430

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は前年度より低下(微減) →平成28年の台風災害による花菖蒲園観賞中止が主な要因 成果指標②は前年度より低下(微減) →住民要望の多様性が主な要因
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①「公園施設長寿命化計画」に基づき施設の修繕・更新・改築や花菖蒲園の復旧により目標達成 ②「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化型改善工事の計画実施 民間の空き家も居住環境の悪化を招く一因であることから、適切に維持保全がされていない空き家所有者に指導を行うことにより目標達成 居住環境の満足度には多様(個人住宅、公園、ごみ、除雪、交通)な要因あり
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	限定特定行政庁事務 公営住宅維持管理事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ●「公園施設等長寿命化計画」の推進 →公園の既存施設は、劣化状況等に合わせ計画的に修繕及び更新を進めている。 ●花菖蒲園の復旧 →平成28年の台風で大幅に菖蒲の種類が消滅した。菖蒲の株を購入し、平成29年度から3か年で復旧を目指す。 ●公営住宅の適正な管理 →低所得者への公営住宅の賃貸を維持継続し、必要な修繕を適正に実施することにより快適な住環境を提供している。 ●老朽空き家対策 →耐震診断の実施、改修や解体への補助の周知を実施し、危険な空き家の所有者に対して指導を行った。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	≪ 施策を取り巻く状況 ≫ ・公営住宅入居希望者の居住環境に対する要望が従前より高く、多様性が増している ≪ 今後の予測 ≫ ・公園施設が経年劣化していることから、安全安心な憩いの場やコミュニティの場を提供するため、計画的な公園施設の点検による維持管理と修繕及び更新 ・「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、ストックの効率的・効果的維持管理の推進 ・老朽空き家に対する相談件数の増加
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	・公営住宅の適正な整備をさらに推進してほしい ・高齢者世帯、ひとり親世帯の入居希望が増加している ・空き家対策として、リノベーションなど違った側面からの対策を考えてほしい ・公園の整備、遊具を充実してほしい

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)

●課題① 公園施設等の老朽化対策	既存施設は、経年劣化が進んでいることから、「公園施設等長寿命化計画」に基づいた適切な維持管理と施設の更新、防災機能の向上を図る。
●課題② 少子高齢化対策	少子高齢化に対応した住環境づくり、住宅の安全性と快適性を確保、空き家などの住宅ストックの流通を促進する。
●課題③ 老朽化した公営住宅の整備	「公営住宅等長寿命化計画」を見直しを行い、適正な管理戸数及びトータルコストの削減を図る。また、高齢者、障がい者など、多様な人々に快適な住環境の整備を促進する。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	平成28年の台風災害の影響はあったものの、花菖蒲園も含めた施設整備について計画的に実施されており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	計画に基づき、適正に進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	計画に基づいて進められており、庁内評価と同じく策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	・公営住宅については、公営住宅の役割や必要性を整理し、整備してもらいたい。 ・花菖蒲園の再開は町民も期待しており、再開に向けて進めてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					